

## 研究実施のお知らせ

当院で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	NCD を用いた本邦における悪性胸膜中皮腫に対する根治術の有用性および予後予測因子の検討：肺癌登録合同委員会第 12 次事業
研究責任者氏名	研究責任者 呼外科・院長 尹 亨彦
研究期間	研究許可日～2025 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：悪性胸膜中皮腫に対して根治目的に手術を受けられた患者さん 診療科名等：呼吸器外科
	手術施行日：西暦 2014 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	悪性胸膜中皮腫に対する手術の長期予後が多施設共同観察研究において明らかにします。大規模な調査を行うことで悪性胸膜中皮腫に対する治療についての新しいエビデンスが得られることが期待されます。
研究の方法	カルテより以下の情報を収集し、全国のデータベース（National Clinical Database; NCD）に登録し、長期予後や予後因子を解析します。 一次情報（すでに NCD に登録済みのもので；臨床情報、手術内容、短期術後成績等）に加えて新たに二次情報として悪性胸膜中皮腫に特化した臨床情報、病理所見、長期術後成績、治療内容等を NCD に入力、登録します。 本研究は肺癌登録合同委員会という胸部悪性腫瘍に関わる諸学会によって運営されており、全国の大学医学部附属病院および地域の基幹施設が参加し、各施設より患者情報を収集し解析を行っています。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

外部への情報の提供	各共同研究機関から NCD へデータが提供されます。
研究組織	肺癌登録合同委員会 研究代表者 肺癌登録合同委員会 委員長 京都大学大学院医学研究科 呼吸器外科学 教授 伊達洋至 (共同研究機関については別紙参照)
本研究に関する 連絡先	肺癌登録合同委員会事務局 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学 担当者：鈴木秀海 [電話] 043-222-7171  国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 呼吸器外科 [電話] 072-252-3021